

全国女性交流集会 IN 和歌山

—和歌山から、新たなつながりを—

報告者 嶋田 好枝（新座山の会）

2019年10月26日（土）～27日（日）に、和歌山市「紀三井寺ガーデンホテルはやし」で行われた集会に参加しました。今回はいろいろな事情から埼玉の参加者は労山女性委員長の久保典子さんと埼玉県連女性委員長の嶋田好枝の2名と少し寂しかったです。それでも全国から総勢112名の参加で、大いに盛り上がりました。特に地元の和歌山県からの参加者が多く、活気にあふれていました。

新座駅を朝6時に出発し、12時30分には紀三井寺駅に到着しました。駅に着くと、ちらほらと参加者らしい人たちに出会い、一緒に会場のホテルに行きました。一日目は、豊田ふみよ先生の講演がありました。「登山で輝く女性たち—登山がもたらす生理効果—」という演題でした。山登りをすることで、たくさんの元気をもらえ、女性が生き生きと輝くという事を、いろいろなデータから話していただき、「なるほど、その通り」と思う内容でした。

その後は地方連盟からの報告でしたが、私が一番印象に残ったのは、兵庫県連「かぶとやま」所属の山本美雪さんの報告でした。山本さんは51歳でとてもかわいい人でした。その方が、2019年に8000メートル峰3座を登頂されたのです。5月23日エベレスト（8848m）、5月24日ローツェ（8516m）、9月27日マナスル（8163m）を登頂されました。その報告を聞いていて、「なんてすごい人だろう」と思いました。山本さんは夜勤専従の看護師さんです。日本以外の標高の高い山にチャレンジしたくなり、2017年に労山のヒマラヤ登山隊に入り、6080mの未踏峰に登頂されました。もう少し難しい山にチャレンジできるかもしれないと感じ、2018年にロプチェ（6119m）、アマダブラム（6814m）、アイランドピーク（6189m）の三座に登頂し、「8000mにもチャレンジできるかもしれない」と感じたそうです。厳しいトレーニングの末、今回の3座登頂に至ったわけでした。仕事をしながら低酸素トレーニングをしているので、とてもハードだったそうです、ネパールの遠征では、いつもゆっくり過ごしていたそうです。大変だったのは、費用のほうだったそうです。2019年は一年間のうち109日間をネパールで過ごされました。山本さんは、「私は51歳ですが、努力すれば必ず達成できることをこの三年間で学びました。皆さんも目標を持ってチャレンジしてみてください。」と強調されていました。その努力は並大抵のことでは無い

と思いつつも、それをやりきる彼女の意思の強さに感心するばかりでした。

二日目の分科会では、「A、登山における女性の課題」という分科会に参加し、埼玉県連女性委員会の活動の安全登山実技講習会「山でのトラブル対処法」の内容を報告しました。特に二人組になって実際に実技をしたという事について、「良い試み、実践してみたい」という意見が多数あり、続けてきたことが評価されたことをうれしく思いました。

全国の皆さんの元気・活気をもらい、有意義な2日間でした。紀三井寺にも早起きしてお参りしてきました。



集会終了後、全員で記念撮影